

# **吸引精密播種機**

## **SVR100A (-N)**



# スズテック吸引精密播種機を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はスズテック吸引精密播種機の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品などの変更を行うことがあります。  
その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買上げまたはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- **⚠ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。**

## **⚠ 危険**

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

## **⚠ 警告**

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

## **⚠ 注意**

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載しています。使用前に必ずお読みください。

# もくじ

1	安全に作業をするために	3
1	サービスについて	7
1	仕様について	8
1	本製品の使用目的について	8
2	各部のなまえ	9
2	安全銘板の貼り付け位置	10
2	各部のはたらき	11
2	使用前の準備	12
2	播種作業のしかた	14
2	1. 播種床の準備 ..... 14	14
2	2. 作業前の調節のしかた ..... 14	14
2	3. 吸着板の取り付けかた ..... 15	15
2	4. 播種作業のしかた ..... 16	16
3	作業後の手入れについて	19
3	1. 作業後の手入れ ..... 19	19
3	2. 長期間使用しない場合の格納 ..... 19	19
3	定期の点検・調整について	20
3	1. 定期点検一覧表 ..... 20	20
3	2. 吸入ホース・排出ホース・揺動ホース の点検・交換のしかた ..... 21	21
3	3. 伝振ゴムの点検・交換のしかた ..... 21	21
3	4. フィルターの掃除のしかた ..... 21	21
3	5. プロワモーターの交換のしかた ..... 22	22
3	6. ヒューズの点検・交換のしかた ..... 23	23
4	不調診断	24
4	仕様	27
4	標準付属品	28
4	主要消耗部品	28
4	配線図	29
4	その他	30
4	種子に合わせた吸着板の計安 ..... 30	30

# 安全に作業をするために

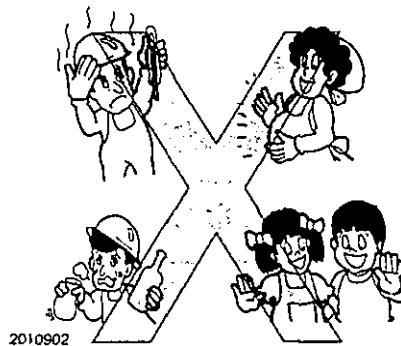
ここに記載されている注意項目を守らないと、  
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。  
※ご購入された製品によっては該当しない内容も一部記載していますのでご了承ください。

## ●一般的な注意項目

### ▲警告

#### こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



2010902

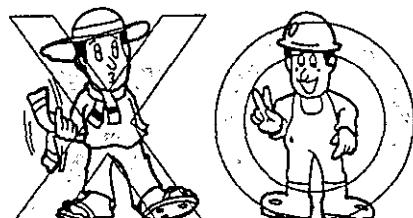
### ▲警告

#### 安全靴・つなぎなどの作業に適した服装を心掛けてください

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。



2010903

### ▲警告

#### 機械を他の人に貸すときは

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むよう指導してください。

〈守らないと〉

説明不足により死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。

### ▲警告

#### 機械の改造や指定以外のアタッチメントの装着禁止

改造をしないでください。

〈守らないと〉

機械の故障、事故・ケガをまねくおそれがあります。

## • 作業前後の確認時の注意項目

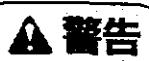


### 電気部品・コードは必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接觸部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

〈守らないと〉

ショートして、火災の原因となることがあります。

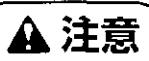


### 点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。

〈守らないと〉

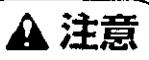
機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



### 必ず電源を切ってから点検整備をしてください

〈守らないと〉

感電したり、ケガを負うおそれがあります。



### 定期点検整備を受けてください

1年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をしてください。

〈守らないと〉

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。

▲ 注意

作業前・後は必ず機械の点検をする

作動不良の場合は、確実に作動するよう調整してください。

〈守らないと〉

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。

▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取外したカバー類は、必ず取り付けてください。

〈守らないと〉

機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

● 運搬時の注意項目

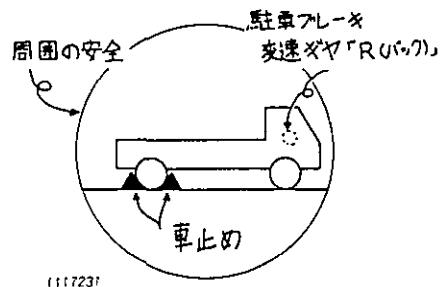
▲ 警告

トラックには必ず車止めを

積込むトラックの変速は「1速」または、「R」位置に入れ、駐車ブレーキを掛けて車止めをしておいてください。

〈守らないと〉

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。



▲ 警告

ロープでトラックに確実に固定する

トラックにのせて移動するときは、強度の充分あるロープでトラックに機械を固定してください。

〈守らないと〉

荷台から機械が転落したりして、事故をまねくおそれがあります。

## ● 作業時の注意事項



### 人や動物を近づけない

特に子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

〈守らないと〉

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



### 播種機を据え付けるときには、 フレームとスタンドの間に指をいれないでください

〈守らないと〉

手を挟まれ、ケガを負うおそれがあります。

## ● 作業終了後・格納時の注意項目



### 機械の掃除・点検をするときは電 源を切る

〈守らないと〉

機械に巻き込まれてケガをするおそれがあります。



### 操作ボックス、電気部品は水洗 いしないでください

〈守らないと〉

感電、故障のおそれがあります。

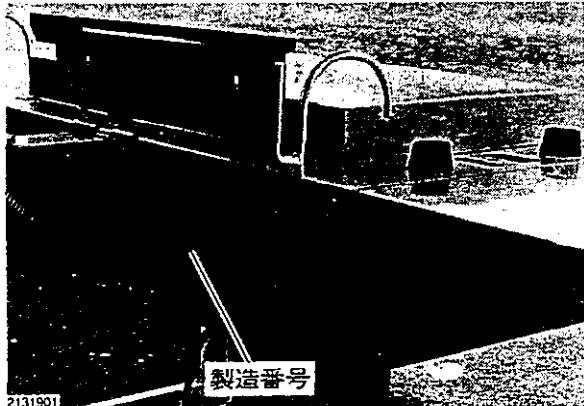
# サービスについて

## アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、農協までご連絡ください。

### 〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えください。



## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

# 仕様について

---

取扱説明書の内容で、仕様によっては該当しない項目もあります。

## 仕様記号

SVR100A : 吸着板(108Y・214Y)付

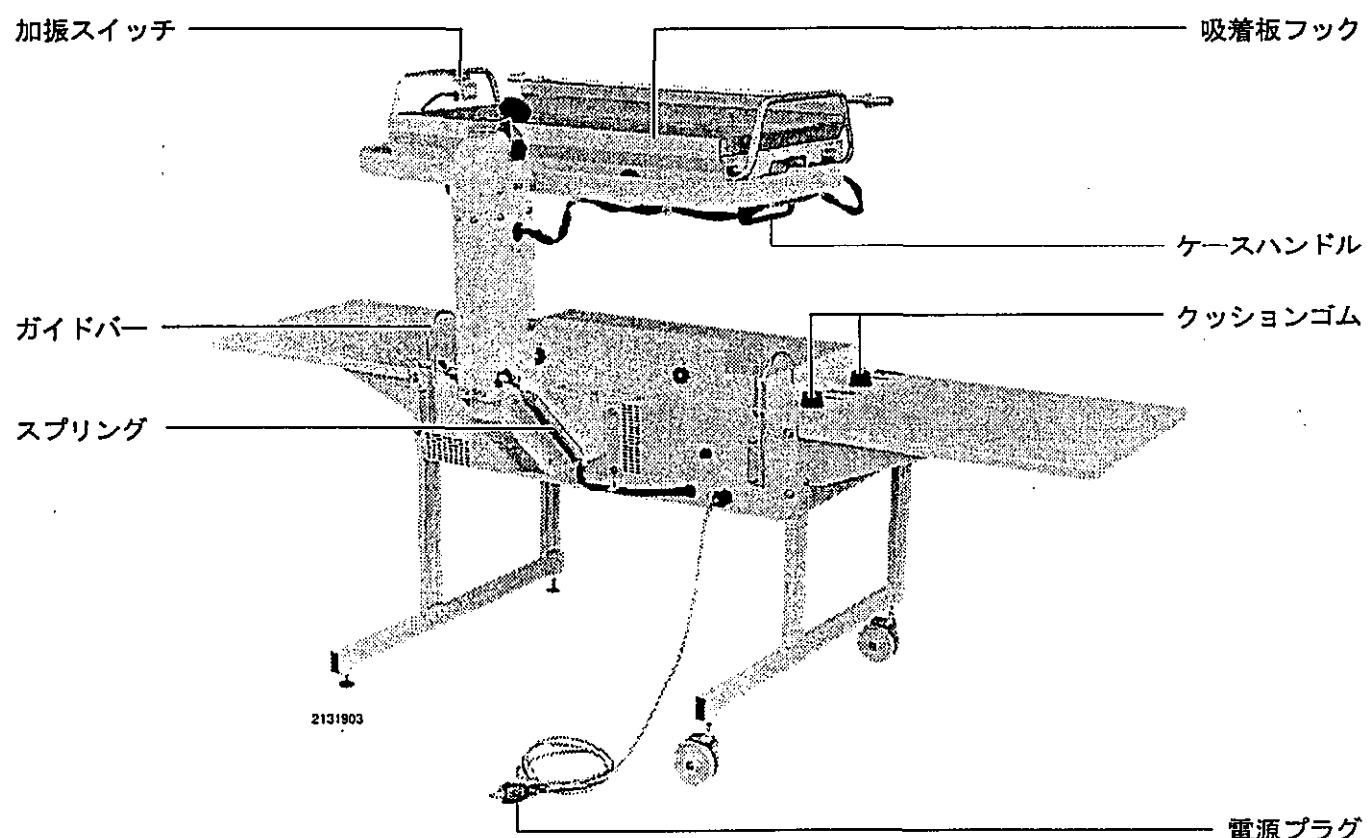
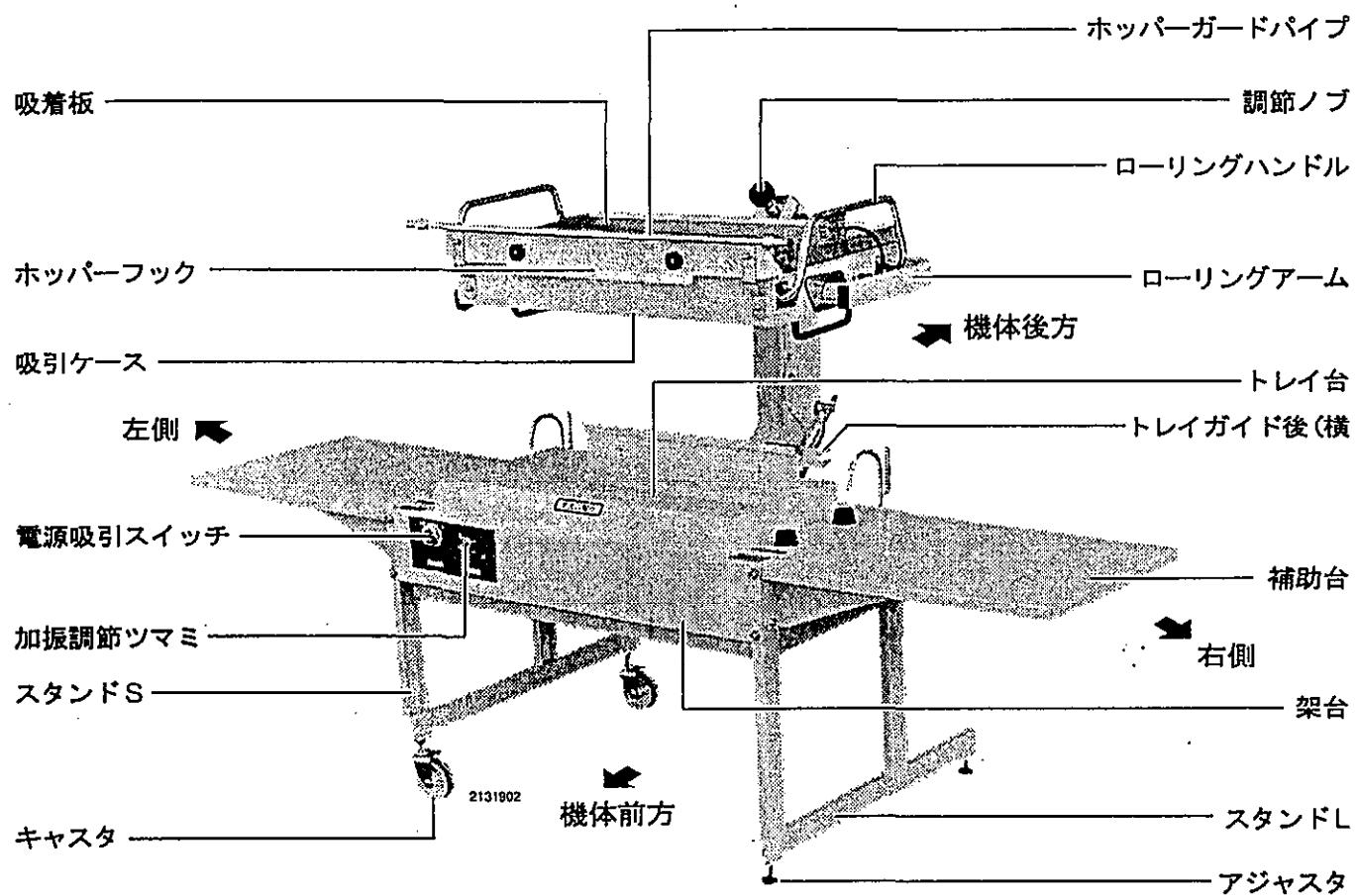
SVR100A-N : 吸着板なし

# 本製品の使用目的について

---

本製品は野菜・花などの種子を養土が充填された状態の指定トレイに播種する機械としてご使用ください。  
使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

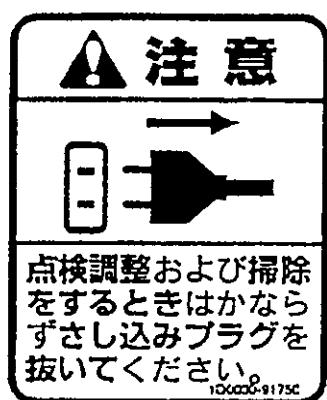
# 各部のなまえ



# 安全銘板の貼り付け位置

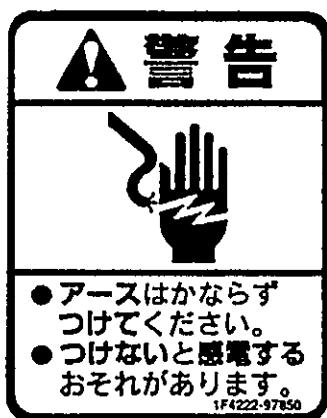
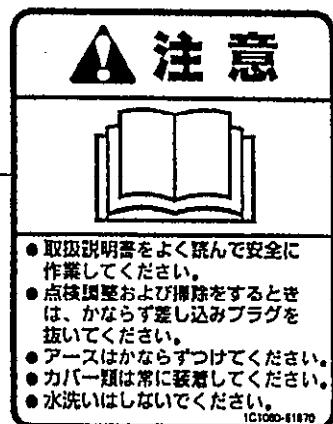
安全に作業していただくために安全銘板の貼り位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

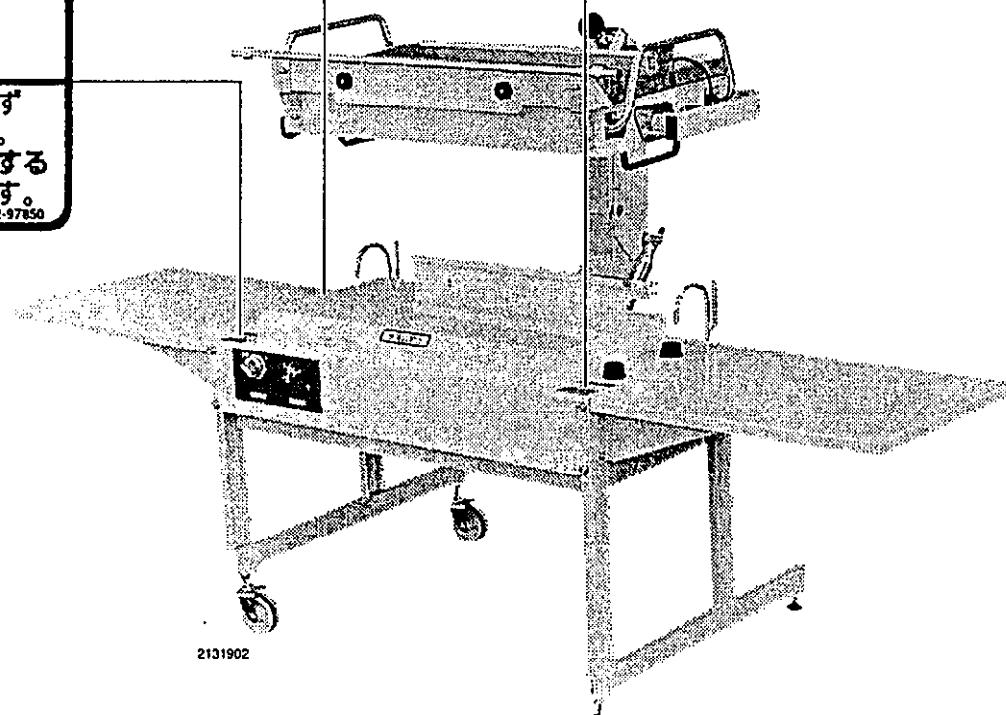


③

①



②



No.	部品番号	備考	No.	部品番号	備考
①	1C1060-61870	注意(取扱い)	③	1Q0030-91750	注意(さし込みプラグ)
②	1F4222-97850	警告(アース)			

# 各部のはたらき

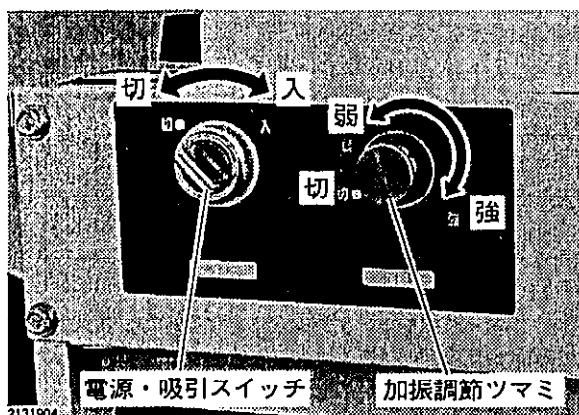
—なまえとはたらきをよく覚えてください。

## ①電源プラグ

100Vコンセントに差し込みます。  
※点検時には、必ずプラグを抜いてください。

## ②電源・吸引スイッチ

全ての電源を「入」「切」します。  
「入」にするとプロワモーターが作動します。

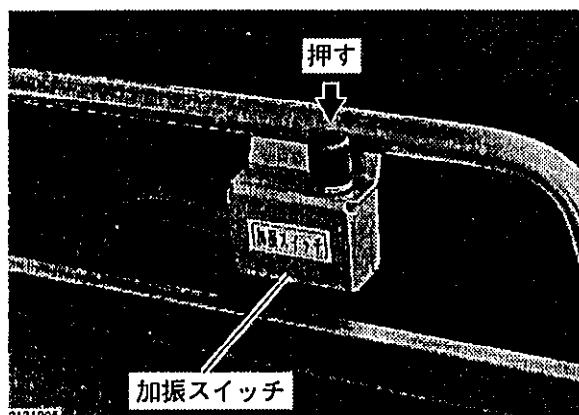


## ③加振調節ツマミ

吸着板の振動の強弱を調節します。

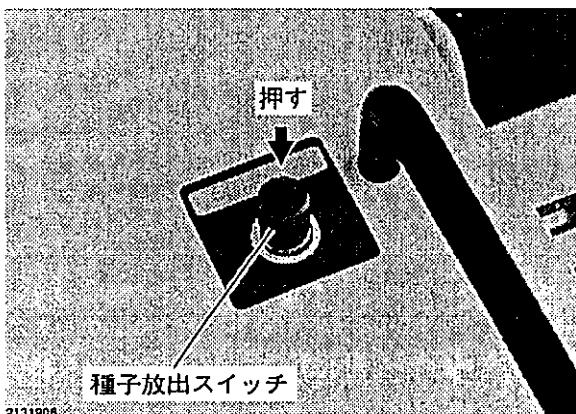
## ④加振スイッチ

押すと加振モーターが作動し、吸着板を振動させます。



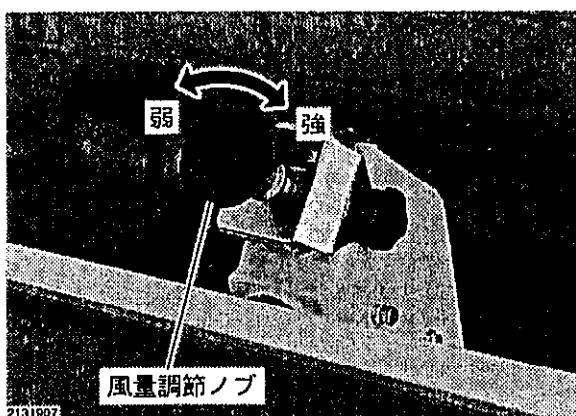
## ⑤種子放出スイッチ

押す度に切換モーターが作動し、吸着状態と放出状態を切り替えます。



## ⑥風量調節ノブ

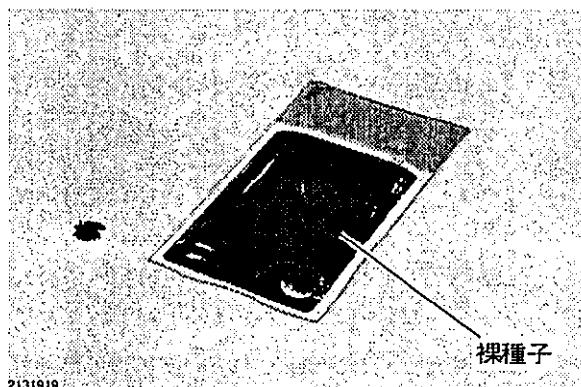
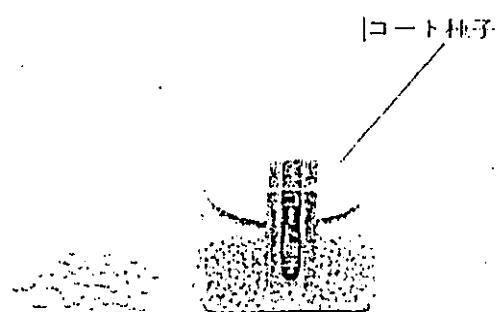
吸引(種子を吸着)する風圧の強さを調節します。



# 使用前の準備

## 種子について

- 種子は、裸種子・コート種子が使用できます。
- 種子どうしがくっついていないものを使用してください。
- 発芽勢の良い新しい種子を使用してください。



## 【取扱いの注意】

- ゴミやコート材料の割れカスなどは、吸着板の穴に詰まることがありますので、フルイなどで取り除いてから使用してください。
- 特殊な形状をした種子には、対応できない場合もありますので、取扱店までご照会ください。

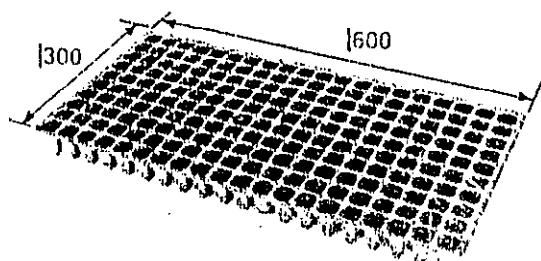
## トレイおよび育苗箱について

- トレイは、NAME規格トレイを使用してください。

〈レタスなど〉

トレイ 25-200

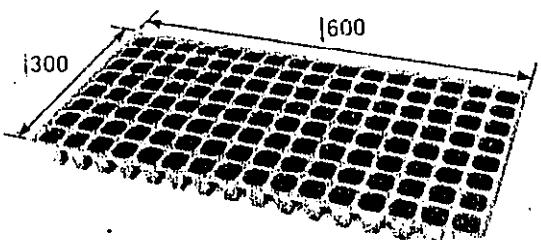
ポット数:200穴 (10条×20列)



〈キャベツ・白菜・ブロッコリーなど〉

トレイ 30-128

ポット数:128穴 (8条×16列)



□×深さ×株数	適用作物
25mm×45mm×200株	レタスなど
30mm×45mm×128株	キャベツ・白菜・ブロッコリーなど

〈その他〉

トレイ 20-288

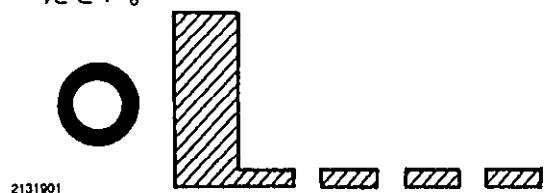
ポット数:288穴 (12条×24列)

トレイ 35-72

ポット数:72穴 (6条×12列)

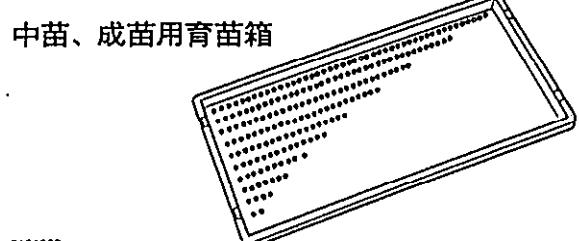
〈選定のしかた〉

- NAME 規格トレイは、育苗箱にセットして使用します。
- 育苗箱は同一寸法のものを使用してください。また、水はけの良いものを選んでください。

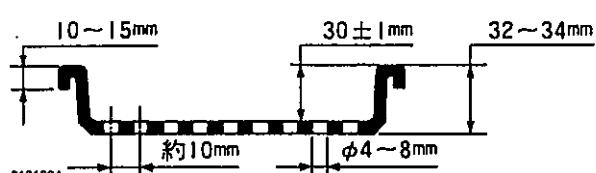


- トレイの受皿として使用する育苗箱は、下記のものを必ず使用してください。

  - (1) 1cm当たり1個程度の底穴があるもの。  
(穴径4~8mm)

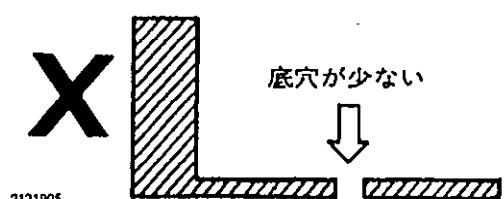
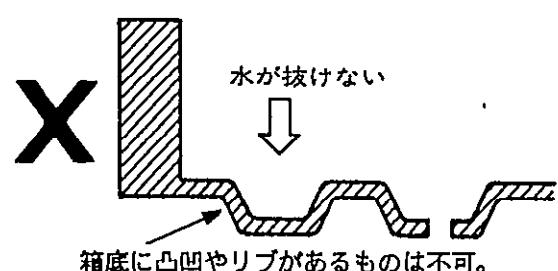


育苗箱の基準寸法



- 次のような育苗箱は使用しないでください。

  - (1) 箱底の穴が少ないものや、底に凹(くぼみ)があるもの。



- 育苗箱をやむをえず混用する場合は、外幅・深さ・底厚さの近似したものを使用してください。

# 播種作業のしかた

## 1.播種床の準備

トレイに養土を充填し、播種穴を開けます。

## 2.作業前の調節のしかた

使用するトレイに併せて、ローリングハンドル・トレイガイド後の高さと伝振板の取付位置を調節してください。

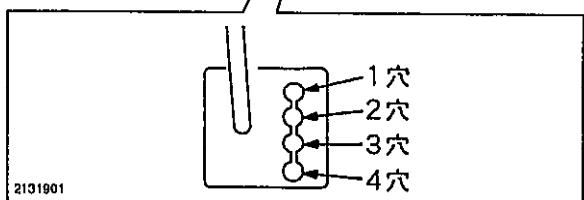
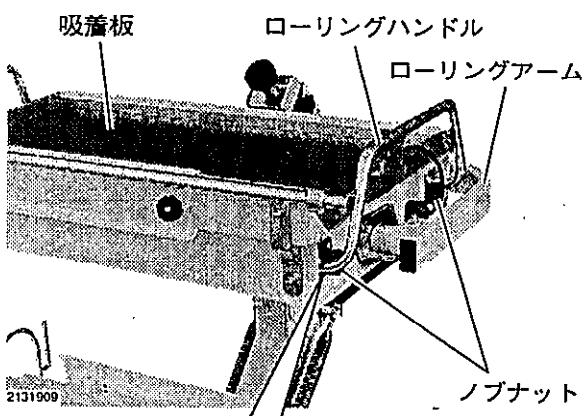
NAME 規格 トレイ	穴 数	取付位置(穴No.)		備 考
		ローリングハンドル・ トレイガイド後	伝振板	
NAME 規格 トレイ	72	3	B	育苗箱 使 用
	128			
	200			
	288			
ランダ マーカー 製トレイ	128	4	A	
	200	3	B	
	288		A	
	406	1		

### ローリングハンドル

吸着板とトレイ上面の距離をできるだけ近付け、種子の飛散を避けるためにローリングハンドルの高さ調節を行います。

#### 〈調節のしかた〉

ローリングハンドルを取り付けている、ノブナット(左右各2個)を外して行います。  
※左右とも、同じ高さにしてください。



#### 【取扱いの注意】

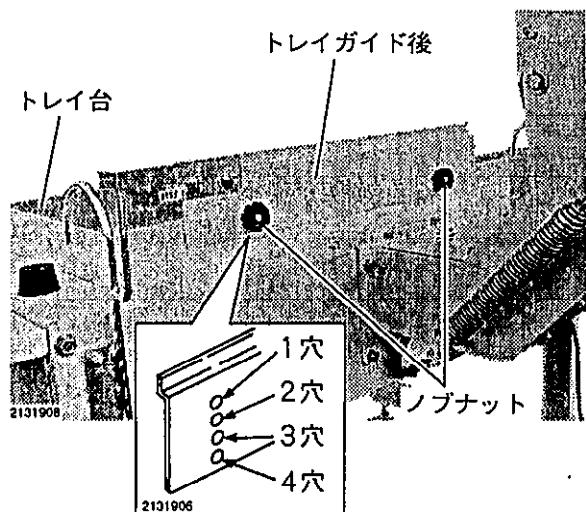
- 距離が近すぎると、吸着板に養土が付着して、濡れてしまうことがありますので注意してください。

### トレイガイド後

トレイを正規の位置にセットするために、高さ調節を行います。

#### 〈調節のしかた〉

トレイガイド後を固定している、ノブナット(2個)を外して行います。

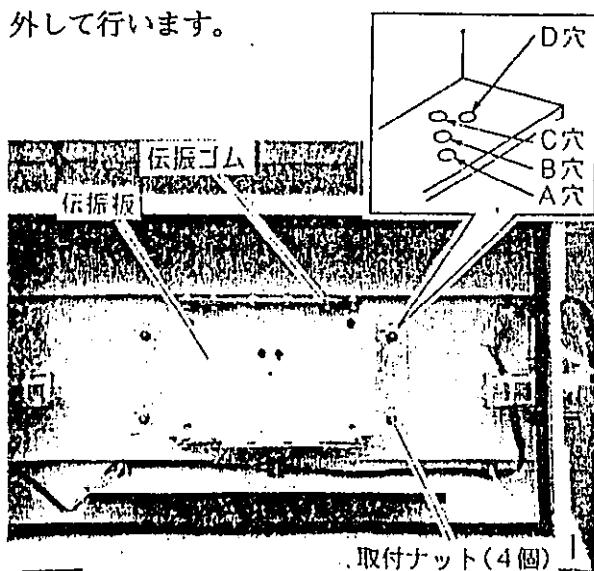


### 伝振板

使用するトレイに併せて、吸着板を交換しますが、伝振板の伝振ゴムが吸着板の穴をふさがないように、伝振板の取付位置を調節します。

#### 〈調節のしかた〉

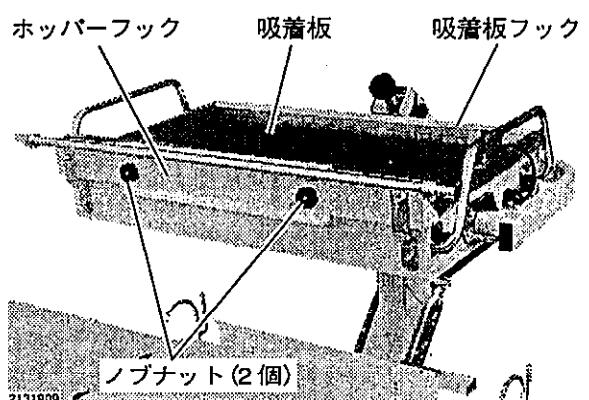
伝振板を固定している取付ナット(4個)を外して行います。



### 3.吸着板の取り付けかた

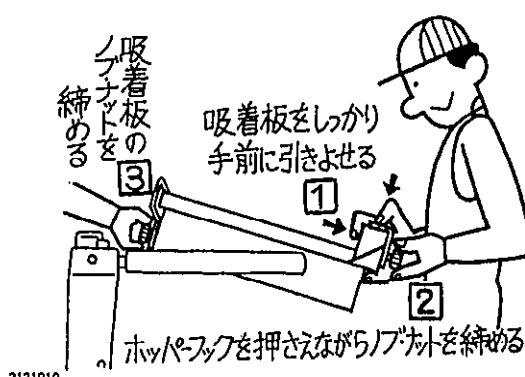
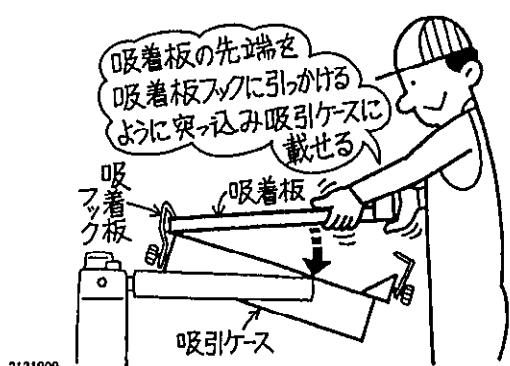
播種する種子に合わせた吸着板を選びます。  
(P.30 参照)

①吸着板フックとホッパーフックのノブナット(各2個)をゆるめます。



②吸着板フックに、吸着板を図のように差し込み、吸引ケースに載せます。

③吸着板をホッパーフック側(手前)にしっかりと引き寄せ、ホッパーフックを押え込みながらノブナットで固定し、それから吸着板フックのノブナットを固定します。



④取り外しは、逆の手順で行ってください。

## ▲注意

- 取り付け・取り外し時は電源を切ってください。さもないと思わぬケガをするおそれがあります。

### 【取扱いの注意】

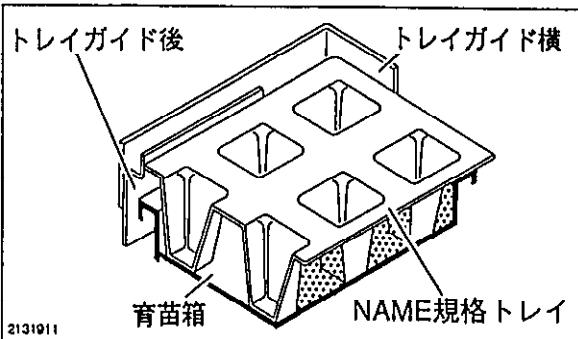
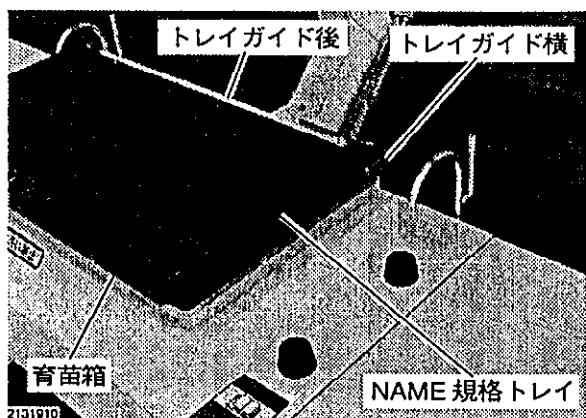
- 吸引ケースと吸着板との間に、スキマがないようにしっかりと取り付けてください。
- 吸着板の表面が汚れていると、種子が付着し播種精度が落ちますので、脱脂綿またはティッシュペーパに洗浄液(シンナーなど)を染み込ませて軽く拭いてください。

## 4.播種作業のしかた

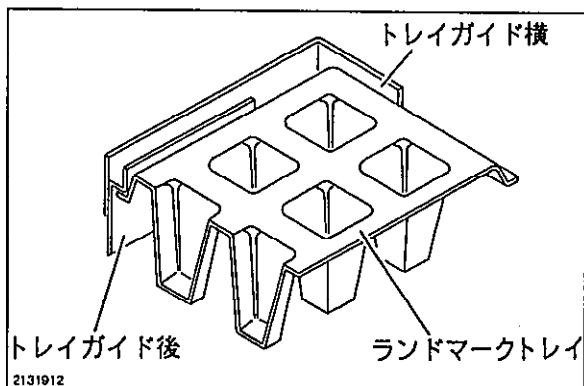
- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②養土充填したトレイをトレイ台に載せ、トレイガイド後とトレイガイド横に当ててセットします。

※吸着板の穴位置は、トレイガイド横のコーナーを基準点として決めていますので確実にセットしてください。

### 〈NAME規格トレイのセット位置〉



### 〈ランドマーク製トレイのセット位置〉



※トレイガイド横の長穴は、出荷時に調整してあります。が、トレイによって各セルの中央に播種されない場合は、ナットをゆるめて調整してください。

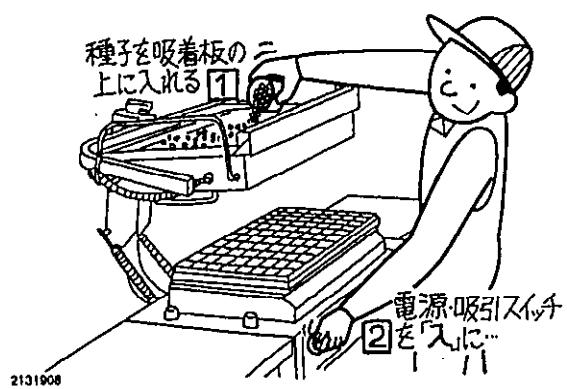
- ③種子を吸着板の上に入れます。

### 【取扱いの注意】

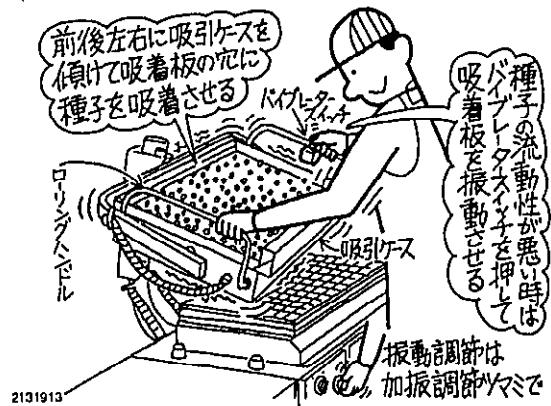
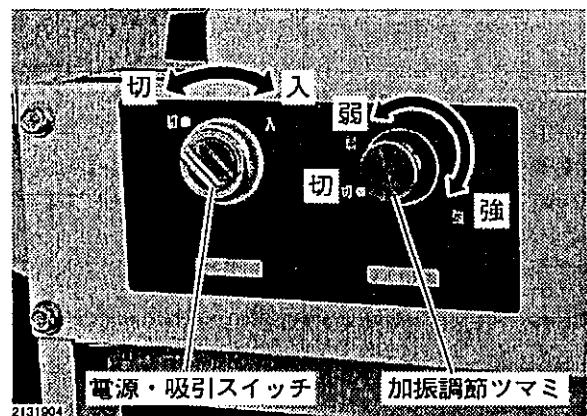
- 播種後、残った種子は回収できますので、作業能率をアップするために、種子は多めに入れてください。(P.19 参照)

## 播種作業のしかた

- ④電源・吸引スイッチを「入」にします。  
※吸着状態になっているかを確認してください。放出状態になっている場合は、種子放出スイッチを1回押して、吸着状態に切り換えてください。



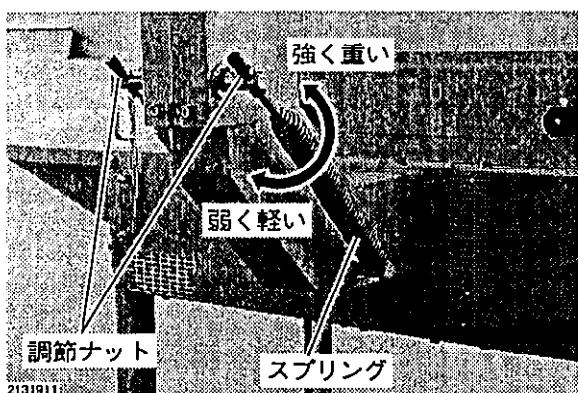
- ⑤ローリングハンドルを持ちながら、前後・左右に吸引ケースを傾けて、吸着板の穴に種子を1粒ずつ吸着させます。  
※種子(球形以外や超微細種子など)が吸着板上で流動性が悪いときは、右側のローリングハンドルにあるバイブレータスイッチを押して、吸着板を振動させてください。加振力の調節は、加振調節ツマミで行ってください。



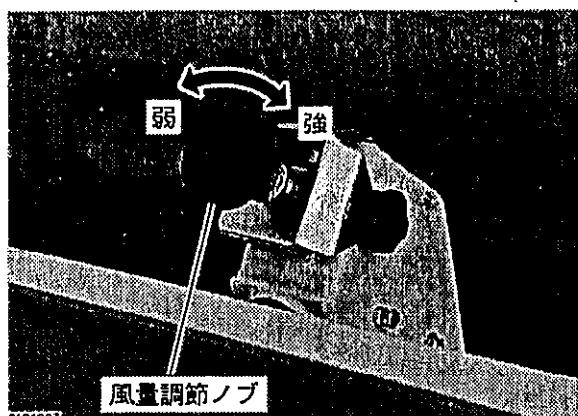
※また、吸引ケースを前後に傾けるときに、操作が重すぎたり、軽すぎたりして戻りが悪い場合は、スプリングの調節ナットで調節します。

### 〈調節のしかた〉

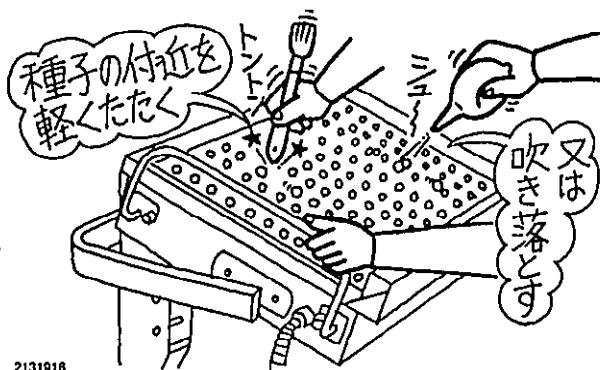
スプリングの調節ナットを締め込むと、吸引ケースの戻りは強くなり、操作が重くなります。ゆるめるすると戻りが弱くなり、操作が軽くなります。



- ⑥吸引力が強すぎるときは、風量調節ノブを回して調整します。



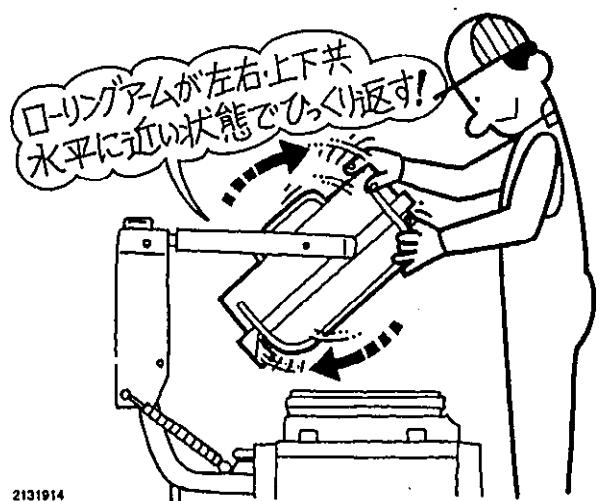
※吸着板の穴径や風量を適正に選択・調整しても、種子は完全に球状ではないので、1穴に2~3粒吸着する場合があります。このようなときは、吸引ケースを手前に傾けて、付属品のブラシの柄で余分に吸着している種子の付近を軽くたたいてホッパーに落とすか、同じく付属品のハンドプロワで吹き落してください。



#### 【取扱いの注意】

- 余分な吸着種子を吸着板をたたいて落とすときは、強くたたかないでください。吸着板を傷つけることがあります。

⑦吸着板の穴に1粒ずつ吸着したら、ローリングハンドルを持ち、ローリングアームが水平に近い状態のままで、吸引ケースをホッパー側(手前)にひっくり返します。



2131914

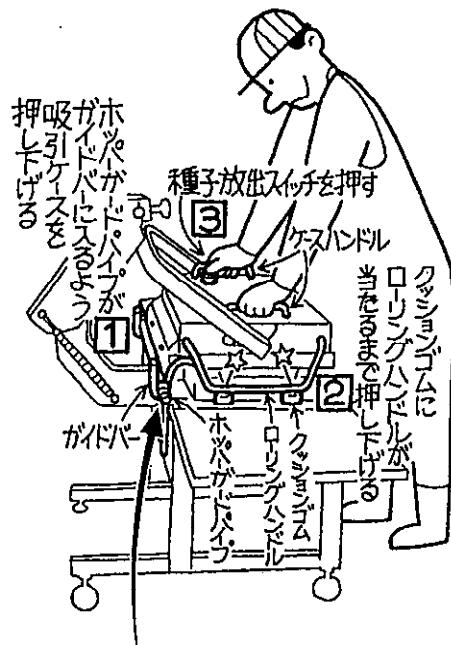
⑧ローリングハンドルからケースハンドルに持ち変えて、ホッパーガードパイプがガイドバーに入るように吸引ケースを水平に押し下げます。

このとき、ホッパーガードパイプ両端の突起は、ガイドバーの外側に来るようになります。

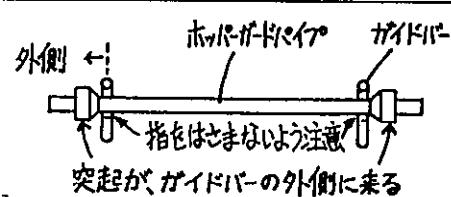
※クッションゴムにローリングハンドルが当たるまで押し下げてください。

⑨種子放出スイッチを押すとモータが回り、吸着している種子を吹き落とします。

⑩種子放出スイッチを1回押して吸着状態にします。



2131915



2131917

## ▲注意

- 上記イラストで示した「指をはさまないよう注意」箇所には、指をそえないでください。さもないと指をはさみケガを負うおそれがあります。

# 作業後の手入れについて

## 1.作業後の手入れ

- ①電源・吸引スイッチを「切」にします。
- ②コンセントより電源プラグを抜きます。
- ③余った種子を回収します。

〈種子の回収のしかた〉

1. 吸着板を吸引ケースより取り外します。
2. 吸着板のコーナー部より種子を取り出します。  
(標準付属品のブラシで掃き出して下さい。)



2131015

### 機体の掃除のしかた

#### ⚠ 警告

- 機体には、絶対に水をかけないでください。さもないと感電のおそれがあります。

機体清掃は電源プラグをコンセントから外して、拭いてください。

## 2.長期間使用しない場合の格納

- ・パッキンゴムの劣化を防ぐために、直射日光の当たらないところに格納してください。
- ・コード類をねずみにかじられないようにしてください。
- ・トレイ台の上に重いものを載せないでください。
- ・風量調節ノブは、全閉にしておいてください。

# 定期の点検・調整について

## ▲警告

- 点検・整備・清掃などを行うときは、必ず電源・吸引スイッチを「切」にし、電源コードを外してから行ってください。  
回動部に巻き込まれたり、重大な傷害事故の原因となります。

## ▲注意

- 取り外したカバーなどは、必ず機械に取り付けてください。  
機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

### 【取扱いの注意】

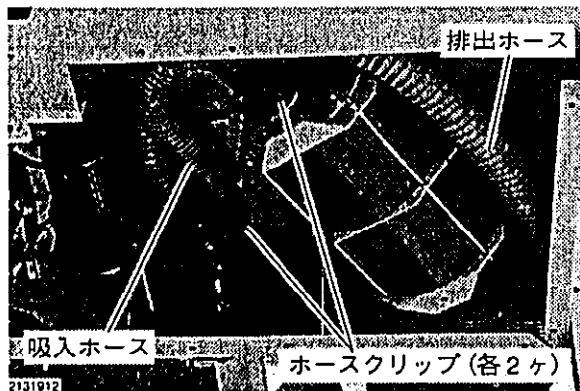
- 点検・整備・調節などで、ゆるめたり取り外したボルトは、確実に締め付けてください。

## 1.定期点検一覧表

点検・調節箇所	内 容	交 換 時 期	参 照 ページ
吸引ケースパッキン	損傷がないこと		—
吸入・排出・揺動ホース	エアもれがないこと		21
伝振ゴム	損傷がないこと		21
フィルターの掃除	—		21
ブロワモータの交換	—	交換 700 時間前後	22
ヒューズ	10A		23
電気配線の点検	—	2年毎に交換	—

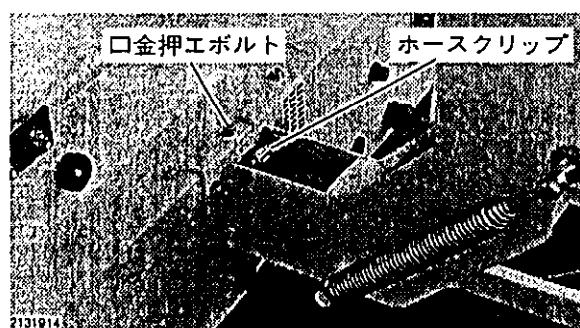
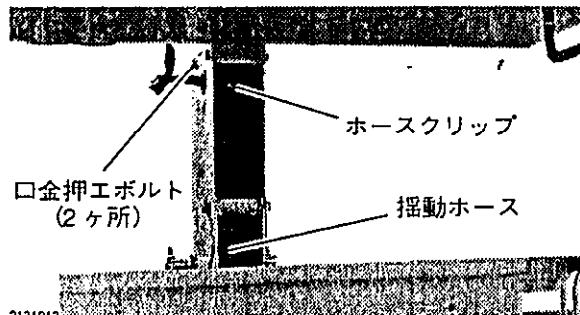
## 2. 吸入ホース・排出ホース・ 揺動ホースの点検・交換のしかた

- ①底板を外し、吸入ホース・排出ホースに損傷がないか、ホースクリップがゆるんでいないか点検してください。交換が必要な場合は、ホースクリップをゆるめ新しいホースに交換してください。



- ②揺動カバーを外し、揺動ホースに損傷がないか、ホースクリップがゆるんでいないか点検してください。

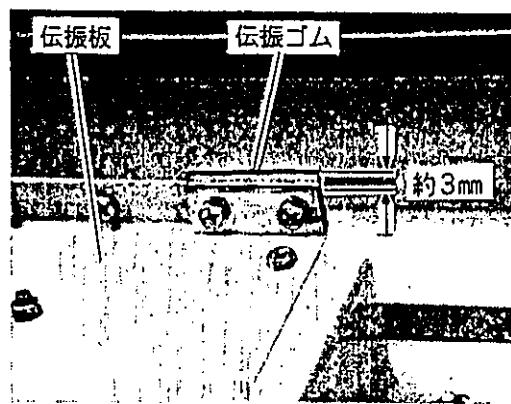
交換が必要な場合は、口金押エボルト(3ヶ所)をゆるめホースを取り出し、ホースクリップをゆるめホースを口金より外し、新しいホースに交換してください。



## 3. 伝振ゴムの点検・交換のしかた

伝振ゴムに損傷がないか点検してください。ある場合は新しい伝振ゴムと交換してください。

※伝振ゴムは約3mm飛び出しているのが正常です。



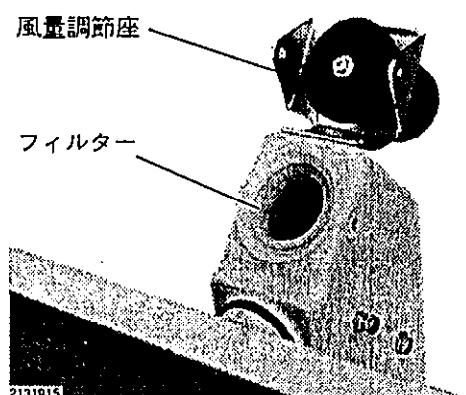
## 4. フィルターの掃除のしかた

フィルターの中にゴミや異物が詰まると吸着性が悪くなります。

下記3ヶ所のフィルターを清掃してください。

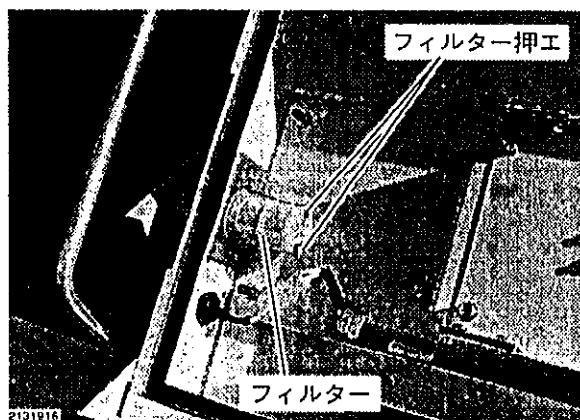
### ①風量調節ノブ部

ノブボルト(2ヶ)を外し、風量調節座を回動し、フィルターを取り出してください。



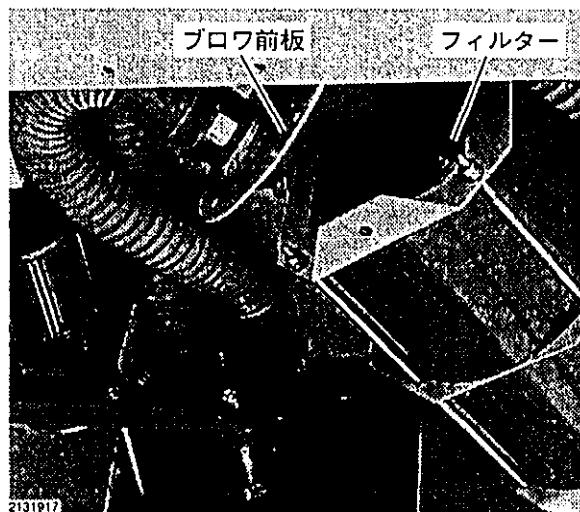
②吸引ケース部

フィルター押エを外し、フィルターを取り外してください。(2ヶ所あり)



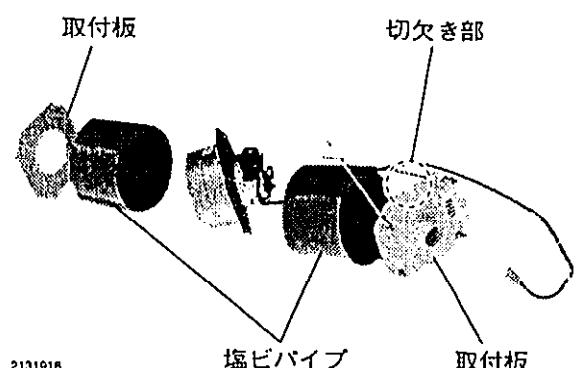
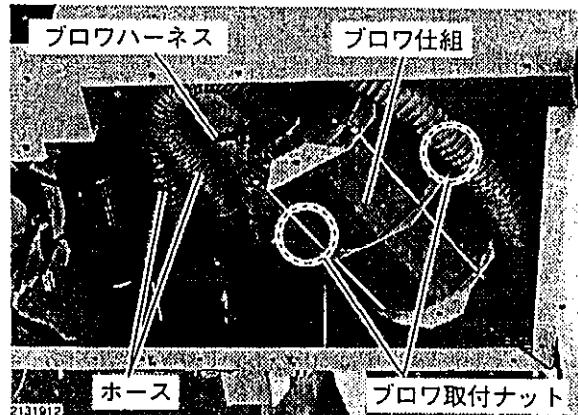
③プロワモーター部

底板を外し、プロワ前板を外し、フィルターを取り外してください。



## 5. プロワモーターの交換のしかた

- ①底板を外してください。
- ②プロワ部のホースクリップをゆるめホースを外してください。
- ③プロワハーネスを外してください。
- ④プロワ取付ナット(2ヶ)を外し、プロワ仕組を取り外してください。
- ⑤プロワ仕組よりプロワを取り外し、新しいプロワに交換してください。



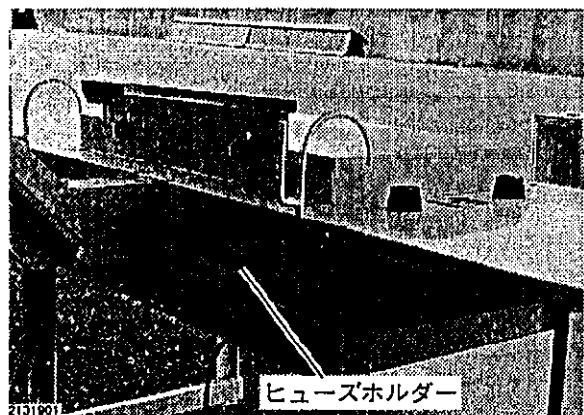
⑥プロワー交換後は、逆手順で元通りに取り付けてください。

[組付時の注意点]

- ①プロワーハーネスは塩ビパイプ内を通し、切欠き部より出してください。  
このとき、切欠き部と塩ビパイプの隙間が最少となるように組み付けてください。
- ②塩ビパイプと取付板とに隙間ができるないように均一に組み付けてください。  
※隙間ができると吸着力が落ちます。
- ③プロワーおよびホースの方向を間違えないように組み付けてください。
- ④ホースの位置関係に注意し、ネジれないようにしてください。

## 6.ヒューズの点検・交換のしかた

ヒューズは配線回路(常時通電している回路)へ過大電流が流れたとき、溶断して回路を遮断します。ヒューズが切れたときは、架台後側にあるヒューズホルダーを開き、ヒューズを交換してください。



# 不調診断

状況	点検箇所	処置
プロワが動かない。	①電源プラグはコンセントに入っていますか。 ②電源・吸引スイッチは入っていますか。 ③ヒューズが切れていませんか。 ④架台部の温度が異常に上がっていますか。	家庭用AC100Vコンセントに接続してください。 電源・吸引スイッチを「入」にしてください。 ヒューズが切れた原因を調べ、ヒューズ(10A)を交換してください。 安全装置(サーマルプロテクタ)が作動していることが考えられます。本機を日陰に移動して、安全装置の復帰を待ってください。 作業は、風通しの良い日陰で行ってください。
振動が生じない。	①加振調節ツマミが「切」になっていますか。 ②バイブレータスイッチを押しましたか。 ③吸引ケース内の伝振板が損傷していませんか。	加振調節ツマミを右に回してください。(「弱」～「強」適当なところにセットしてください。) 振動はバイブレータスイッチを押している間のみ発生します。 伝振板が損傷している場合は、取扱店に連絡してください。
バイブレータスイッチを押しても振動が生じない。	①吸着板を吸引ケースから外し、カプラが外れていないか調べてください。	カプラが外れていたら接続してください。 カプラが正常ならば、取扱店に連絡してください。
振動が弱い。 (吸着板上で種子の流动性が悪い。)	①加振調節ツマミを調節しましたか。 ②吸引ケース内の伝振板が損傷していませんか。	加振調節ツマミを「強」にしてください。 伝振板が損傷している場合は、取扱店に連絡してください。
切り換えができない。 (種子が落ちない。)	①底板を外し、切換モーター用のカプラが外れていないか調べてください。 ②種子放出スイッチを押しましたか。	カプラが外れていたら接続してください。 種子放出スイッチを押してください。

状況	点検箇所	処置
吸着板の1穴に2粒以上吸着するものが極端に多い。	①吸着板の穴径が大きすぎませんか。 ②風量調節ノブを調整しましたか。 ③前記①,②調整後も現象が改善されなければ、右記の補助手段を行ってください。	種子に合った吸着板を使用してください。 風量調節ノブを弱の方向に回してください。 標準付属品のブラシの柄で吸着板表面を軽くたたいてください。余分な種子が落下します。 あるいは、同じく標準付属品のハンドプロワを用いて余分な種子を吹き落してください。
吸着板への種子吸着性が悪い。	①吸着板の穴径が小さすぎませんか。 ②吸着板の穴がゴミなどで目詰まりしていますか。 ③風量調節ノブの開度が大きすぎませんか。	種子に合った吸着板を使用してください。 吸着板を吸引ケースから取り外して光に透かしてみると、目詰まりの有無が容易に分かります。 目詰まりしているときは、ハリなどでゴミを取り除いてください。 風量調節ノブの開度が大きすぎると吸着力が弱くなります。(強の方向に回してください。)
	④ホースクリップがゆるんでいませんか。(架台の中にもホースクリップがあります。架台底板を開けて確認してください。) ⑤配管あるいは吸引ケース内フィルターに異物が詰まっていますか。	ホースクリップを締めしてください。 異物を取り除いてください。
	⑥吸着板の装着は完全ですか。(ノブナットのゆるみなどはありませんか。)	吸着板を確実に装着してください。

状況	点検箇所	処置
吸着板への種子吸着性が悪い。	⑦吸引ケースパッキンは正常ですか。	痛みがひどい場合は、取扱店に連絡してください。
	⑧吸着板の穴が養土で目詰まりしていませんか。	養土に水を加え(加湿し)飛ばないようにしてください。
吸着板の穴以外の部分に種子が付着する。	①吸着板表面が汚れていませんか。	洗浄液(シンナーなど)で吸着板表面の汚れを取り除いてください。
	②吸着板表面が濡れていませんか。	吸着板表面を拭いて乾かしてから使用してください。 雨天などで、湿度が極めて高い場合は種子が水分を多く含むため、播種できないこともあります。(種子同士がくっつきます。)
	③吸着板表面に著しい凹凸やキズがありませんか。	著しい凹凸やキズがある場合は、新しい吸着板を使用してください。

# 仕様

項目		型式	SVR100A	SVR100A-N
機体寸法	全長 (mm)		1810	
	全高 (mm)		1070	
	全幅 (mm)		755	
重量 (kg)			63	
電源 (V)			AC100V (50/60Hz 共通)	
電力 (W)			670	
播種方式			真空吸引式	
ホッパー容量 (cc)			約400	
適用種子		●野菜・花卉などの裸種子 (特殊な形状をした種子には、対応できない場合もあります) で、取扱店までご照会ください。 ●コート種子(2L・L・Sコート)		
適用トレイ		外形寸法 300×600×65内		
吸着板		108Y・214Yは、標準装備 他はオプション対応		オプション対応
能率 (トレイ/h)		100 (球形種子の場合)		

※この仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

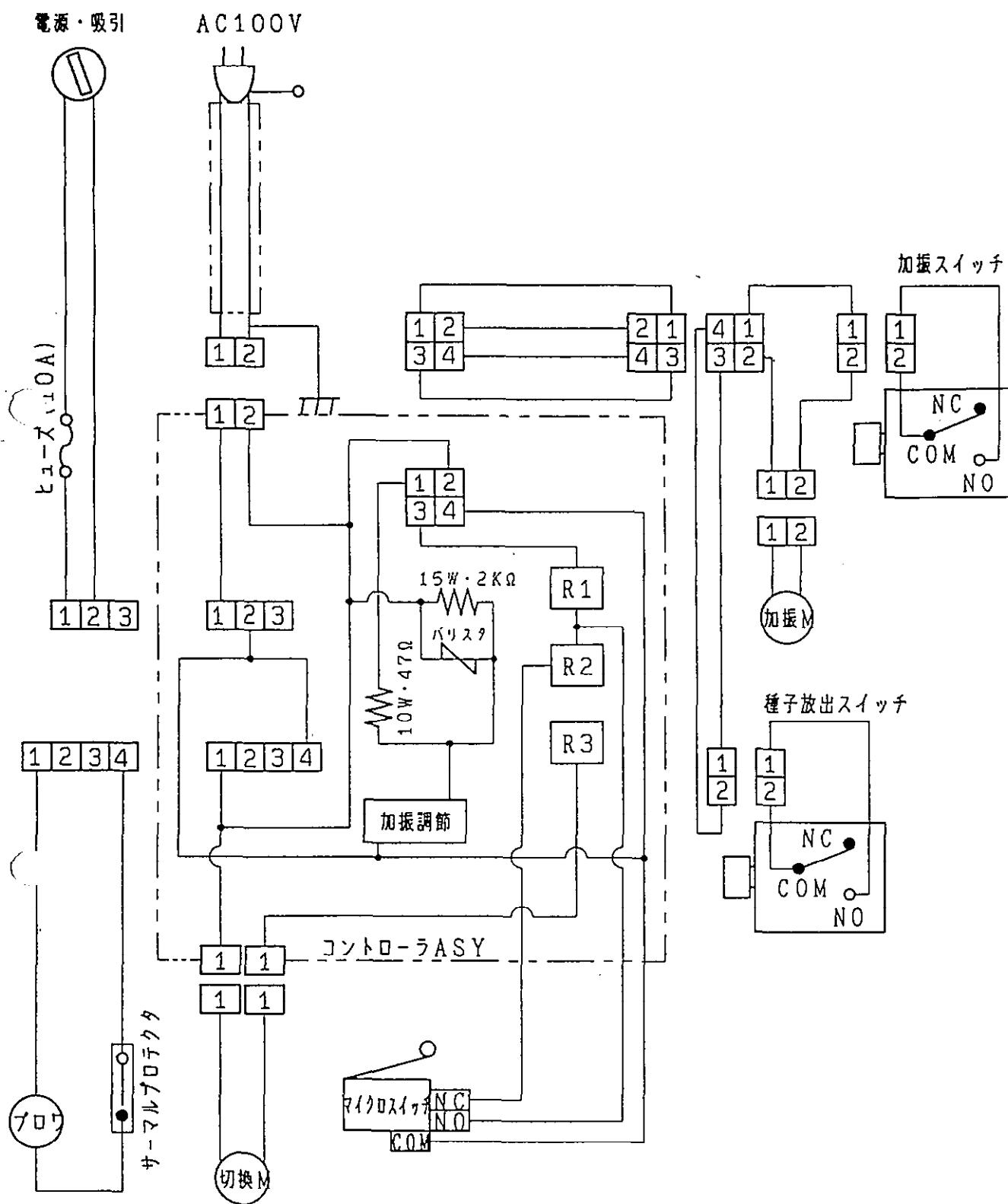
# 標準付属品

No.	品 名	個 数	備 考
1	ブ ラ シ	1	
2	ハンドプロワ	1	
3	ス パ ナ 10×12	1	
4	鎮 壓 具 30Asy	1	SVR100A-N には入っていません。
5	鎮 壓 具 25Asy	1	SVR100A-N には入っていません。
6	取扱説明書	1	
7	組立要領書	1	
8	吸 着 板 108Y 128穴 Φ.8	1	本機に組込んで出荷しています。 SVR100A-N には入っていません。
9	吸 着 板 214Y 200穴 Φ.4	1	SVR100A-N には入っていません。

# 主要消耗品

No.	品 名	コ ー ド	備 考
1	ブ ロ ワ	1C1080-46901	

# 配線図



# その他

## 種子に合わせた吸着板の目安

下表には、いくつかの代表的な種子と、その種子に適合する吸着板の例を示しています。

種子の大きさや形のバラツキによっては、下表の通りではない場合もありますので、販売店とご相談の上吸着板を選んでください。

吸着板	種子	
	野菜	花卉
108	ナス、トマト、 キャベツ、ハクサイ、 ブロッコリー、ピーマン、 コート種子(2S)、パセリ	スターチス、ナデシコ、石竹、 パンジー、アスター、ゼラニウム
214	キュウリ、スイカ、 コート種子(2L, L, S)	ディルフィニウム、フロックス

※吸着板を注文される場合は、トレイメーカー名を必ずお知らせください。

Y V R 1 0 0 A 梱包内容明細

NO	品 名	個数	備 考
1	本体	1	
2	スタンドS(キャスタ付)	1	ダンボール箱入
3	スタンドL(アジャスタ付)	1	
4	補助台	2	ダンボール箱入
5	トレイガイド後(横)	1	(ダンボール梱包)
6	ブラシ	1	
7	ハンドブロワー	1	(袋入) ダンボール箱入
8	スパナ 10X12	1	
9	締結部品	1	(袋入)
10	鎮圧具 30ASY	1	(ダンボール梱包)
11	鎮圧具 25ASY	1	
12	吸着板 108Y	1	本機に取付け
13	吸着板 214Y	1	本機に同梱
14	取扱説明書(保証書付)	1	袋入
15	組付要領書	1	

締結部品

NO	品 名	個数	備 考
1	ボルト(ヒラスープ 6X12)	8	補助台
2	ボルト(ヒラスープ 8X16)	8	スタンドL/S
3	プロネジ	2	トレイガイド後(横)





実り豊かな明日をひらく――――――――――――――――――――

**株式会社 スズテック**

〒321-0950 宇都宮市平出工業団地44-3  
代 表 / TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592